

令和7年度第3回おうめ観光戦略推進懇談会会議録（概要）

1 日時

令和8年3月3日（火）午後2時00分

2 会場

市役所 202会議室

3 出席委員

千葉 千枝子 委員（会長）、竹内 俊夫 委員（副会長）、
本橋 大輔 委員、林 英夫 委員、小澤 順一郎 委員、
千保木 三紀子 委員、榎戸 敏文 委員

4 欠席委員

嶋田 委員

5 傍聴者

〇名

6 議題

(1) あいさつ

(2) 議題

ア 観光に関するアンケートの実施結果について

イ 令和8年度以降の事業計画（案）について

ウ その他

7 配布資料

資料1-1 観光客を対象としたアンケート調査結果について

資料1-2 観光客を対象としたアンケート調査結果

資料1-3 市民を対象としたアンケート調査結果について

資料1-4 市民を対象としたアンケート調査結果

資料2 令和8年度以降の事業計画案について

8 会議録（概要）

発言者	発言内容
1 あいさつ (省略)	

<p>2 議題（1）観光客を対象としたアンケート調査結果について 市民を対象としたアンケート調査結果について （資料1-1、1-2、1-3、1-4）</p>	
事務局	<p>今年度、観光客と市民とを対象として実施したアンケート調査結果を以下のとおり報告。</p> <p>【観光客を対象としたアンケート調査結果】</p> <p>「1 調査目的」、「2 調査事項」、「3 調査方法」、「4 調査対象者および有効回答数」、「5 調査期間」は配布資料のとおり。 「6 回答結果」は資料1-2を参照。</p> <p>「7 おうめ観光戦略における数値目標の達成状況」について、令和7年度は、「一人当たり観光消費額 11,022 円」、「観光客満足度 33.0%」「持続可能な観光に対する認知度 24.0%」と、いずれも目標未達成となった。</p> <p>【市民を対象としたアンケート調査結果】</p> <p>「1 調査目的」、「2 調査事項」、「3 調査方法」、「4 回答数」、「5 調査期間」は配布資料のとおり。 「6 回答結果」は資料1-4を参照。</p> <p>「7 おうめ観光戦略における数値目標の達成状況」について、令和7年度は、「市民の観光おすすめ度 29.7%」「市民の住んでいる満足度 44.1%」といずれも目標未達成となった。</p> <p>本調査に関するクロス集計等の結果に対する分析は次回以降に報告予定。</p>
【質疑応答】	
委員	<p>アンケート結果をみると、来訪される方は近隣の都市化の進んだところからが多い印象。青梅は自然が多いところを魅力に感じておられる方が多いように感じるが、ほとんど日帰り客で車での来訪が多い。先日、梅の公園に行ったみたが駐車場がなかった。今後の課題と思うが、アンケート結果を生かした戦略になっていないように思った。</p>
事務局	<p>駐車場が課題であることは認識している。市ですべての駐</p>

	<p>車場を整備していくことは難しいので、民間の空き地を開放した駐車場などを促していきたい。</p>
委員	<p>アンケート結果より、観光客は日帰り自然の癒しを求めていることが分かる。市民へのアンケートの自由記述欄でも、自然に親しむ所に力を入れた方がよいという意見が多かった。具体的には、釜の淵公園のリバースポーツ、お花を生かした観光、自然を生かした体験、田舎らしさを上手に生かすなど、自然や古い町並みが活かされておらずもったいないと感じている方が多いという印象。</p> <p>これらの結果からウェルネスツーリズム（自然と体験）を生かした観光が求められているのではないかと考える。</p> <p>令和7年12月13日青梅の森を歩くセラピー講座に参加した。歩いたルートはとても整備されていて公園緑地課に参加者は感謝していた。民間ツアーだと有料になる点も市民講座だと無料になるのも良いので、こういった活動もアンケートによる自然を生かした体験として活用できると思う。</p>
事務局	<p>モノ消費からコト消費への転換に合わせて青梅の観光もそれに適応した方が良いのではないかとのご指摘と理解する。現在開催している梅まつり含めて、まだまだモノ消費的なところが多いので、体験型を増やしていくことが課題と考えている。</p> <p>今後、市としては、観光協会や民間業者さんにどう働きかければ体験型コンテンツを増やしていくことができるかを考えていく必要があると感じている。</p>
委員	<p>市外から来訪される方は一人の方が多いが、こういった目的が多いか把握できているか。</p>
事務局	<p>まだ詳細分析していないが、全体的に数値が悪くなってしまっている。今後の調査方法について、もう少し勉強をしたいと考えているので、その方法については次回以降の懇談会で皆様にもご意見いただきたいと考えている。</p>

2 議題（2）令和8年度以降の事業計画案について

（資料2）

事務局

前回の懇談会から変更したものを中心に以下のとおり説明。

【基本戦略1 持続可能な観光地づくりの推進】

施策2「国際認証取得・同水準への適合」について、国際認証を取得するため、グリーンディステーションやビレオについて研究を進めたが、費用対効果の面から、現時点で、これを推し進めるには課題があると判断し、まずは令和5年度に取得した日本版持続可能な観光ガイドラインによるロゴマークを活用することで、認証による来訪者の増加などの効果があるか否かを検討して行くこととした。

施策3「観光施設の整備と維持管理」における「ハイキングコースの路面修繕」について、来年度は長淵山ハイキングコースの路面修繕を行う予定だったが、予算上の制約などがあり、まずは安全面での効果が高いと見込まれる「青梅丘陵ハイキングコースの枯損木伐採」に注力していくこととした。

施策4「電動キックボードの導入検討」について、今年度は梅まつりでの導入や民間業者によるイベントツアーなども検討したが、青梅市では、来訪者ではなく、生活者、市民を対象とした取り組みを優先して進めていくこととなったため、この取り組み状況を見定めつつ、観光施策での活用について検討を継続していく。

【基本戦略2 インバウンド対応の推進】

施策2「インバウンド向け受け入れ環境整備」の「外国人向けガイドの作成」について、都が設置するフリーwifiでの来訪者情報が入手できる可能性が高まったため、このデータを踏まえて、作成することとし、令和9年度以降での実施に変更した。

【基本戦略3 市民、事業者と一体となったプロモーション】

ンの展開】

施策2「レスポンスブルーツーリズムの推進」の「御嶽駅靴洗い場設置」について、来年度に靴洗い場を設置する予定で進めていたが、関係各所との調整が整わなかったため、引き続き靴洗い場の必要性を考えるとともに、設置場所の精査を行い、令和9年度以降での設置を目指していきたいと考えております。

【基本戦略4 観光資源の高付加価値化による収益力の向上】

施策1「観光資源を掛け合わせたコンテンツ開発」について、来年度にNHK大河ドラマ豊臣兄弟！に関連した戦国イベントの実施を予定していたが、まずは本年度実施した妖怪イベントを継続し、定着させていくことを議会などで指摘されたため、令和8年度においては、妖怪イベントを踏まえ、ガイドブックを作製し、より定着化、発展化を進めていくこととしたまた、並行して、別の地域資源を掛け合わせた高付加価値化についても検討を進めていく。

施策2「新たな観光資源の発掘」からボルダリング事業について、現在ボルダリング設備が常設されている御岳交流センターは、来年度に令和9年度以降の指定管理者公募を行うため、公募要領の中で提示されるボルダリング設備の活用案を基に進めたいと考える。このため、ボルダリング設備の利用再開は令和9年度以降に行う予定へ変更する。

施策2「ファクトリーツーリズム事業」について、来年度から事業者への支援を開始する予定としていたが、現時点で具体的な支援事業を定めることができなかったため、来年度も引き続き支援事業内容および支援事業者の絞り込みを検討していく。

一方で、一般社団法人のこーよ青梅が主体となって来年度に市内工場見学や作業体験を行うファクトリーツーリズムの検証を行う方向で進めていく予定があり、そこでニーズ

	<p>や満足度また受け入れ側の課題を洗い出していく予定がある。</p> <p>市全体での財政面などの経営資源に限られるなかでの判断となっているが、認められた内容は勿論のこと、予算をともなわない事業などにも時宜を捉えて取り組んでいく。</p>
【質疑応答】	
委員	御岳の靴洗い場についての課題とは何か。
事務局	御嶽駅前の土地の所有者である JR 様から土地を借りる必要がある点、水道や下水道を整備する必要があるという点。御嶽駅前にはトイレもあるのでその周辺が良いのではないかと意見もあり、設置場所についての課題が残っている。
委員	<p>青梅丘陵 HC の路面修繕について、矢倉台から宮ノ平駅へ降りていくところの道が荒れている。</p> <p>また矢倉台から日向和田駅の方へ降りていく道は急坂で歩くのも大変なので整備を進めた方がよいのではないかと。</p>
事務局	ハイキングコースの本道以外の道すべてについて、路面、倒木、草木の整備をしていくのは現実的に難しいと考えている。まずは他のハイキングコース含めて本道の危険な部分を優先的に整備を進めていく予定としている。
委員	アンケート数値が悪かったことに対して、今後どのように対策して数値を伸ばしていこうとしているのかが見えてこない。持続可能な観光についても認証があれば外から見ても分かりやすくなるのではないかと思う。
事務局	TOKYO サステナブルツーリズムプラットフォームなどを利用して青梅市、あきる野市、奥多摩町を中心に西多摩地域での認証制度を構築できないか勉強中。青梅ブルースーツ & ドリンク事業などを生かして青梅ブルーの普及も図りつつ集客を図っていきたい。
委員	先日、ある事業者による講和を聞く機会があったが、その事業者では専属デザイナーを設置したところ飛躍的に業績が

	伸びたという話があった。青梅市でもそういった取り組みをしてはどうか。
事務局	現在のところそういった取り組みは考えていない。ただしトータル的に青梅市をデザインして周知していくことが理想的であることは同意するので、青梅というブランドを高め、周知に力を入れていくことを研究していきたい。
委員	青梅ブルースイーツ&ドリンク事業は評判がよかった。動画での配信とかによる周知が良かったのだと思う。
委員	市だけでブランド作りや周知を行っていくのは難しいので、例えば JR と協力しながら進めていくのはどうか。
事務局	民間業者と協力しながらブランド作りやイメージを作っていくのは良い考え。協力いただける民間事業者さんと共に進めていくことも考えていきたい。
委員	地域共創という言葉もあるのでうまく協力していければ良いと思う。
2 議題（3）その他	
事務局	特になし
委員	青梅市立美術館の工事中。隣接している喫茶ルームについて再オープンするか分からないと市の担当課から返答有。釜の淵から青梅駅へむかうルートの中にある喫茶ルームなのでぜひ予算をつけて再オープンして欲しい。
事務局	ご意見ということで伺いました。
3 次回の懇談会日程について	
事務局	今回は、7月～8月頃の開催を予定している。日程調整についてのメールを後日お送りする。
4 その他	
事務局	特になし